

のごあいさつ



芦別市長 荻原 貢

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、お健やかに新春をお迎えになられましたことと心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、私の市長任期の最終年度となり、本市の新たなまちづくりの指針として策定した第6次総合計画がスタートした年でありましたが、国内外での新型コロナウイルスの感染拡大により、本市の社会経済活動に大きな影響を受け、その対応に追われた一年でありました。

市ではこの間、国や北海道と連携しながら感染防止対策を講じるとともに、地域経済の回復を図るため、市民・事業者の皆様に対する生活支援、経営支援等、各種施策に取り組んでまいりました。

また、このコロナ禍の影響により、日本ソーイング株式会社北海道工場が9月末をもって閉鎖、従業員の全員解雇という大きな衝撃と、地域経済への影響も少なくなく大変残念な事態となり、このため、市では早々に離職を予定される方の再就職を支援するため、合同企業説明会を開催するなど、対応を図ってきたところであります。

さらに、築後51年の経過と耐震性に劣る市庁舎の整備に関しても、昨年の国勢調査に伴う人口減少等による今後の地方交付税への影響や、ふるさと納税の大幅な減収により行財政運営が一層厳しくなることが見込まれ、また、コロナ禍の中、市民の皆様との意見交換の機会も得にくい状況などから、今年度内に予定していた基本・実

施設設計を先送りせざるを得ないものと判断いたしました。引き続きコンパクト性を重視した建替えを基本に検討を進めていく必要があるものと考えております。

一方、こうした状況下にあつて、これまでオール芦別で誘致活動に取り組んできた北海道立北の森づくり専門学院が4月に旭川市に開校いたしました。活動成果として本市が地域実習拠点と位置付けられたことを受け、今日まで林業関係団体の皆様を中心にインターンシップや地域実践実習などへの官民一体による地元受け入れ体制が整ったことから、今後、林業の担い手確保や地域活性化に繋げてまいりたいと考えております。

また、一般国道452号の整備促進に向けては、関係者による国等への要請活動により、鏡トンネルの工事着手が決定し、10月には赤羽国土交通大臣の現地視察が行なわれるなど、事業推進に弾みがつくものとの期待いたしております。

さて、迎えました本年も新型コロナウイルス感染症対策と地域経済の回復を重視しつつ、市民皆様の福祉増進と本市財政の健全化を図り、官民一体により、しなやかにゆるぎない市政進展にチャレンジ、ステツプアップを目指してまいります。

結びに、今年一年が皆様にとりまして、ご健康で希望にあふれる年となりますよう、心からご祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。



教育委員会

教育長 福島 修史

市立芦別病院

院長 細川 寿和

監査委員

岩花 永喜

大鎌 光純

農業委員会

会長 北野 俊之

公平委員会

委員長 荒木 英理

固定資産評価審査委員会

委員長 大西 俊夫

芦別市消防団

団長 高砂 裕司

令和3年 新年



芦別市議会議長 田森 良隆

新年明けましておめでとうございます。
市民の皆様におかれましては、お健やか
に新年をお迎えのことと、心よりお慶び申
上げます。

昨年を振り返りますと、国内においては、
1月に、国内初の新型コロナウイルス感染
者が確認され、2月には、横浜港に停泊し
たクルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号
の船内におけるクラスターが発生、3月に
は、全国小中学校、高校の一斉休校や、東
京オリンピック・パラリンピックの延期が
決まり、8月から9月にかけては、安倍首
相が辞任し、菅首相が誕生、新内閣が発足
しました。

新内閣発足後も政府は、引き続き、新型
コロナウイルス対策に全力を傾注しました
が、感染者の急増には、なかなか的確に対
処できておらず、政治は難局を抱えたまま
の状況にあります。

本市におきましても、このコロナシヨツ
クの影響により、半世紀以上にわたり操業
を続けてきた日本ソーイング社北海道工場
が閉鎖、このことに伴うふるさと納税の減
収など、本市は一層財政状況が厳しくなる
ことが否めず、結果として、本年度から進
めることとしていた市庁舎整備に関しまし
ては、先送りをせざるを得ないものとなり
ました。

やはり昨年は、新型コロナウイルス感染

症の発生により、私たちの暮らし、社会経
済に大きな影響が及ぼされた1年でありま
した。

明けた本年、本市においては、少子高齢
化や人口減少が続く中で、自治体財政を保
ちつつ、地域の活性化に取り組みに当たっ
ては、地域の特性を活かすということが不
可欠であり、本市固有の自然、文化等を活
かした観光の振興をはじめとする交流人口
の拡大に取り組むことや、地元特産品のブ
ランド化等の地域産業の振興を図る取り組
みなどが、今後ますます重要性を増してい
くものと考えているところであり、そのた
めの課題解決に向けて、私ども市議会の果
たす役割はこれまで以上に重要となつてま
いります。

私ども市議会は、これまでも気がついた
ことから、できることから一歩ずつ改革を
進めてきましたが、更に、時代の変化に沿っ
た積極的な改革の意識を持ち、市民の皆様
への情報の公開と共有、市民参加を進め、
わかりやすく、開かれた議会の実現を図る
べく努力を続けてまいり所存でありますの
で、市民の皆様への変わらぬご支
援とご協力をお願いいたします。

結びに、今年一年が、皆様にとりまして、
ご健勝ですばらしい年になりますよう心か
らご祈念申し上げます、新年のごあいさ
つといたします。

芦別市議会

副議長

小川 政憲

議員

林 伸樹

樋坂 直紀

新村 充

松尾 達矢

大橋 二郎

石川 洋一

北村 真

大鎌 光純

松井 邦男

若松 市政

